

第221話 達磨寺田植踊り その3 中山町歴史散策

達磨寺田植踊りの曲目と歌詞を詳しく見ていきましょう。この田植踊りの華やかさは、衣装の華やかさと唄い手、囃方の呼吸の合った音域が踊り手を鼓舞させるところにあります。多くの作業工程を組み入れ、踊りの動作の中に、田打ち、植代掻きから収穫までの作業を象徴的に演じるもので、テデ衆と中太鼓は調子を取り、特にテデ衆はテデ棒で、大地を強く突き、大地に潜む地主神の鎮魂と田植神(サの神)を呼び出して、田植えの無事終了と豊作を促すものとなっています。

ソトメ(早乙女)は田植えの主役で、本来は早乙女(踊りでは女装の男性)で、赤い垂幕の菅笠で顔を隠しているのは、禊を終えて聖少女となった証です。若い少女は純粹で性の力が最も強いから、稲の生産の最も重要な田植え仕事に選ばれたのです。そして、稲作業がかく順調に進むようにと模範演技をするので、田植踊りの呪術性はここにあるのです。踊りはテデ衆の口上と唄い手の唄との掛け合い式で進行します。途中で観客から「ほめ言葉」がかかることがあります。その時は踊りを中断し、終わったらテデ衆が「返し言葉」を返します。そして、中断した踊りを再開します。

○正月(植代掻きの表現)
口上
「エート来りや、御亭主様、お家にごさるか御免なり。アキの方から大田植・小田植・苗取り・代掻き・早

乙女・伴には七、八百人ひきつれ参った」

「これのお旦那様には、一と表大前刈を持たっしやるそうだ。水の積りも結構さ。肥の積りも結構さ、刈りひきなどは、上方ともしたことなくなどはテデめがな、転んでも濡れない畦だ」と

「代などは駒の一、二匹では足りないな。駒の十四、五匹もおつ取り込んで、ランマ、ヒゲ、トクシヤリ、リュウセ、クリゲ、シモコ、四ツ代などは、四つの隅からだ、取り込んで、三角びや箱、ゴロゴロごろびつなり、しつた(下)までも掻いてくれる事は出来まいかな、姉だ」
「道楽、道左衛門のかいた代などは、辺りほとりばり掻いて、真中は小山の如くでござるとさ」

「中でも鉄頭金作・道三郎の掻いた代などは上畦はたより下畦はたまで、ネバネバネツパリと掻いて、打つたる苗もお立つくでござるとさ。まずは田植えにさせかからせましょう。皆々精出せ精出せ」

「イーオン、お正月はな、お目出たいがや、祝い申すぞご亭主様
「イーシン、白銀のな、銚子や盃で祝いたてたよな門松
「イーソン、門松のな、一の枝にな、殿のお鷹がな巢をかけ
「イーソン、巢をな、のぞき見申せばな、仔を持ち、黄金がな、九つ
「イーソン、それを一つな、うが(お前)に参らしよな、八つで長者とな、呼ばれる
次号に続く

※引用 中山町史 中巻
第10章第4節 民俗芸能と娯楽

私たち地域おこし協力隊です! No.87

あちこちで冬支度が施され町内の風景が雪の季節に変わってきたように思います。「今シーズンの雪の量はどうなんだろう?」とか、「また毎朝雪かきをしなければならぬいなあ…」なんて、雪を想像するだけでネガティブ思考になってしまいがちです。私は太陽の光を浴びたり、夜空の星や月を見ることが少なくなるとメンタルが落ちます。

おかげさまで、中山町に住み始めて無事に2年が経ちました。私は中山町は平らで人工物がなく遠くまで見渡せるところが好きです。虹が出たときは半円がくっきり見えるんですね。なんて素敵なんでしょう〜!嬉しくなってずっと眺めていたい気分になります。もしかして中山町は『虹が見える町』なんじゃない?なんて妄想してます。

商品開発しながら夢中になりすぎて、目が疲れ肩が凝ったりします。そのような時には空を見上げたり、ゆ・ら・ら前イベント広場の芝生でストレッチしたり、最上川河川敷公園の堤防で月山を眺めて心と身体を癒しています。このまま風景を楽しみながら雪のある冬生活を乗り切りたいです!

皆さんは雪の日、家の中で何をしてお過ごししていますか?楽しいことをお会いした時にぜひ教えてくださいね。



阿部美恵子

出身地: 栃木県鹿沼市
趣味: 高校野球観戦



①鍋掛松と虹



②河川敷公園からダブルレインボー

●協力隊への問い合わせ先● 阿部 ☎662-4271 (総合政策課)